



平成 19 年 2 月 13 日

各 位

東京都港区浜松町一丁目 27 番 16 号
株式会社インフォマート
代表取締役社長 村上 勝照
(コード番号：2492 東証マザーズ)
問い合わせ先 常務取締役兼管理本部長
藤田 尚武
電話 (03)5777-1710

**「食材甲子園」琉球銀行との連携で沖縄県、
紀陽銀行との連携で和歌山県開始のお知らせ**

今回、当社は琉球銀行及び紀陽銀行と連携し、当社が運営する「FOODS Info Mart (フーズインフォマート)」の都道府県別企業間食材市場「食材甲子園(注1)」に、沖縄県・和歌山県の2県の食材甲子園を2007年4月より開始いたします。これにより、沖縄県、和歌山県を含め、「食材甲子園」に参加する県は合計21府県(注2)となり、順調に拡大を続けております。

琉球銀行及び紀陽銀行の両行は、地域の活性化及びビジネスマッチングの一環として、地域の食品企業に対し「食材甲子園」の利用を紹介することで、地域食材の販路拡大支援や、地域企業の業容拡大・活性化を支援いたします。また、団体での利用による特別メリットの提供、有効利用を促進するためのセミナー・説明会も当社と共同開催していく予定です。

今後も、2007年1月に食品関連業界3団体及び21社と設立いたしました「食材甲子園研究会」の推進とともに、「食材甲子園」の拡大に努めてまいります。

(注1)「食材甲子園」とは、当社運営の食品食材市場「eマーケットプレイス」をベースとした県産品の企業間食材市場で、マイクロソフト運営の「経革広場」とコンテンツ連携をしながら、地域の食材の販売・仕入が可能な仕組みです。地方自治体、地方銀行及び地域密着企業と連携し、全国の地域食材の販路拡大を支援しています。

(注2)「食材甲子園」参加都道府県

青森・岩手・山形・茨城・千葉・山梨・静岡・愛知・岐阜・富山・福井・石川・大阪・和歌山・愛媛・岡山・山口・長崎・宮崎・鹿児島・沖縄の合計21府県

【会社概要】

2006年12月現在

社名・代表者名・事業内容 / 所在地		
株式会社 琉球銀行 ・ 頭取 大城 勇夫 ・ 金融機関 / 沖縄県那覇市久茂地1丁目11番1号		
設立	資本金	従業員数
1948年5月	44,127百万円	1,201名
社名・代表者名・事業内容 / 所在地		
株式会社 紀陽銀行 ・ 頭取 片山 博臣 ・ 金融機関 / 和歌山市本町1-35		
設立	資本金	従業員数
1895年5月	80,096百万円	2,422名

《参考資料》

[食材甲子園研究会について]

当社運営の「FOODS Info Mart」及びマイクロソフト株式会社運営の「経革広場」における「食材甲子園」の取り組みをさらに発展させるべく、新たに「後援」として社団法人日本フードサービス協会、社団法人日本セルフ・サービス協会、社団法人日本通信販売協会、三井物産株式会社、三菱商事株式会社、「共催・協力」として各都道府県での連携先である地方自治体・地方銀行等及びオリックス株式会社、株式会社ワnzの協力により2007年1月、以下の運営組織で「食材甲子園研究会」を設立いたしました。

◆主催

株式会社インフォマート マイクロソフト株式会社

◆後援

社団法人日本フードサービス協会 社団法人日本セルフ・サービス協会
社団法人日本通信販売協会 三井物産株式会社 三菱商事株式会社

◆共催・協力

【青森県】青森県食産業活性化電子商取引推進協議会

【岩手県】株式会社東北銀行・株式会社テレビ岩手

【山形県】おいしい山形推進機構

【千葉県】株式会社千葉銀行

【山梨県】株式会社山梨中央銀行

【静岡県】株式会社静岡銀行

【岐阜県】岐阜県庁

【愛知県】株式会社中京銀行

【大阪府】大阪商工会議所

【岡山県】岡山県中小企業団体中央会

【愛媛県】南海放送株式会社・愛媛県中小企業団体中央会

【長崎県】株式会社十八銀行

【宮崎県】株式会社宮崎銀行・宮崎県農業法人経営者協会（事務局：宮崎県農業会議）

【鹿児島県】株式会社宮崎銀行

オリックス株式会社 株式会社ワnz

■「食材甲子園研究会」の目的

本研究会の目的は、食材甲子園への機能提供・支援を通じて、以下を実現することです。

- ・ 地域食材の振興や地場企業活性化の支援。
- ・ 地域食材における伝統の継承や品質の確保、生産体制の支援及び国内における食文化の更なる発展への寄与。
- ・ フード業界への食材甲子園の浸透と取引活性化策の実施。
- ・ IT活用推進による地域活性化の支援。

以上